

領域	中期経営目標	短期経営目標	評定	取組指標（実践内容）	評定	成果指標（達成状況）	評定	○評価の根拠 ◇分析・改善策	担当
確かな 学力 (知)	児童一人一人に 基礎・基本の学力を 着実に定着させる。 【教務部】	1 国語・算数の基礎的・ 基本的な知識・技能の 習得・定着をはかる。	3	11 全国学力調査，基礎・基本定着 状況調査の分析，授業改善	4	111 授業改善計画を策定，CRT に反映	4	○改善計画を立案し，職員研修を行い計画の周知徹底を図った。 ◇改善計画が CRT の結果に反映するようにする。また CRT の結果をもとに次年度の 計画に生かす。	多田 坂田
				12 CRT の実施とその分析，授業改 善計画を立案	2	121 全国・県平均を上回る児童，国語 80％以上，算数70％以上	1	○国語80％以上かつ算数70％以上の児童が60％ ◇評価基準の妥当性を検証したい。指導の成果は着実に出ている。今後は，全国平 均を下回った領域等についての課題について明らかにするとともに指導を重点的に 行う。	
				13 家庭学習の充実を図る。家庭の 協力を得るため，学校通信・学級通 信に記事を掲載	3	131 (15+10 ×学年) 分間の家庭学習 をする子80％以上	3	○すべての学年で改善データ提出 ◇全国平均以下の領域についての改善データだけでなく，学級・個人のウイークポ イント等となる小設問等についての授業改善についても考える。	
		2 書く活動を通して，表 現力・思考力を高め る。	3	21 研究授業を教員が相互評価をす るための授業評価カードを作成・ 実施	4	211 授業評価カードを作成し，参加者 が評価をする。回収率90％以上	4	○回収率95％以上 ◇授業評価表への記入によって授業をふり返り，互いに高まり合うという意識をも ち研究授業をすすめていく。◇授業評価カードへの記入・提出の期限を決めて取り 組む。	佐藤 千葉
				22 授業評価カードをアイテムとし て，組織的・継続的授業改善の進 展	3	221 授業評価カードから分析できる課 題を示し，次の研究授業の課題とす る。【進捗】	3	○課題を分析して共通理解を図った。 ◇研究授業にかかわらず，日常的に授業実践の話ができたり，教材研究が協力して できたりするような風土を引き続き大切にしていける。◇3月末には研究の歩みとし て研究冊子を作成し，来年度の研究の方向性を見いだしていく。	
豊かな 心 (徳)	様々な体験を通 して，思いやり 等の豊かな心を 育てる。 【保健生徒指導 部】	3 実態に応じ，やりきら せることで，自己肯定 感を感じる活動を仕組 む	4	31 個別の指導計画をもとに，校内 ケース会議を学期に1回持ち，全 教職員が児童の理解に努める。	4	311 課題のある児童が変容したと，肯 定的評価をする教職員80％以上	4	○課題のある児童が変容したと回答した教職員：90％以上 ◇肯定的評価を増やし，やる気を持たせていく。 ◇家庭との連携をしっかりと持つ。	千葉 大崎
				32 すべての個に応じた課題を用意 し，継続してやりきらせる。	4	321 全校児童が，自分がやりきったこ とを文章や絵，発表等で表現するこ とができる。	4	○児童の肯定的評価：100％ ◇担任は児童一人一人に見通しが持てる目標をもたせる。◇教職員が児童のがんば りに対して肯定的評価をする。◇児童が頑張ったことを表現する場を積極的に作っ ていく。◇体育科での跳び箱・マット運動，なわとび等の発表会。◇国語科での新 聞作りや発表会等。◇児童同士で肯定的評価をしていく場をもつ。◇個人面談を積 極的に活用していく。	
		4 地域教材を取り入れた 体験学習に取り組む。	3	41 地域の人材や施設等を活用した 体験学習の実施	3	411 全校目標数 12 単元	3	○12 単元実施 ◇指標の妥当性を検証したい。1 単元で数回取り組んだ学年があったが，評価は2 になった。◇来年度も地域の人材や施設に目を向け計画的に活用する学習を練って いく。	坂田 三宅
				42 地域教材を題材に探究型総合的 な学習・生活科学学習を学習発表会 に発表	4	421 地域素材発表プログラム数2	4	○プログラム数 3 以上	
		5 自分の目標に向け，体 力づくりに挑戦させる る。 【保健生徒指導 部】	3	51 新体力テストの2回実施	3	511 5 月テスト県平均を上回る項目数 が8項目の内，5 項目の子が50％	4	○50％以上 ◇さらに向上するために，セット運動パートⅡを定着させ運動タイムの充実を図る。	三宅 赤木
				52 課題解決のための運動タイムの 充実・体育授業に計画的にセット 運動を位置づける	4	512 10 月のテスト結果が5 月の記録 を4 項目上回っている子が80％	3	○90％以上 ◇さらに向上するために，セット運動パートⅡを定着させ運動タイムの充実を図る。 ◇チャレンジカードを使って縄跳びへの意欲を持たせる。	
健やか な体 (体)	自分から進んで 体をきたえ，や りぬく力を育て る。 【保健生徒指導 部】	6 健康で安全な望ましい 生活態度や生活習慣を 育てる。	4	61 「生活ふりかえりカード」で，自 分の生活や4 S（整理・整頓・清 潔・清掃）を振り返り，意識・実 践させる。	4	611 カードの集計結果，身について いる児童が60％	4	○児童の肯定的評価：80％以上 ◇就寝時刻が守れない児童が多い，次いで起床時刻，手洗いができないとなる。起 床・就寝時刻が守られない児童は固定化していることが多いので個別で指導するこ とが大切である。4 Sについてもことある毎に声かけをする必要がある。 *集中振り返りでは評価が3 である。	本田 大崎
		7 地域・保護者に情報提 供をし，地域の声を受 け止める。 【教務部】	4	71 HP の各ページの充実を図る。	4	711 保護者や地域の声を掲載，年間 3 回以上	4	○3 回掲載し，内容の充実を図り積極的に情報提供した。 ◇引き続き，積極的に情報提供する。	土井 田中 赤木
				72 学校だよりを発行し，地域に学 校情報を発信する。	4	721 学校だよりを校区全戸配布し，公 民館に掲示する。	4	○毎号学校だよりを全戸に配布し公民館に掲示した。 ◇全戸に配布し，公民館に掲示した。	
				73 学校に対する声に誠実に対応し， 報告・連絡・相談の徹底を図る。	3	731 電話内容，対応をメモし，誠意を 持つて行う。	3	○概ね電話の相手や来校者に対して誠意を持って対応している。 ◇常に誠意をもって対応し，メモをとって確実に連絡をする。◇迅速な対応をする よう心がける。◇管理職及び職員への相談が必要な場合には迅速に行う。	
		8 教職員が学校経営に参 画する意識を高める	3	81 課題（学校，自己）を持って研 修に臨む	4	811 1 人年間1 回以上提言型の研修参 加レポートを作成。（A4 版）	4	○1 人平均1.2 回以上 ◇内容のある提言型レポートの作成を心がけるように呼び掛け，研修に生かす。す べての職員がレポート提出をして研修した内容を還元する。	佐藤 多田
				82 校内研修に参加型研修を盛り込 む	3	821 参加型研修を年間8 回実施。	3	○8 回 ◇指定研修においても参加型研修を取り入れて研修を行う。◇回数と内容について 充実を図る。◇実態に応じたサテライト研修も予定に入れていきたい。	